



岩倉タイムズ



発行日
2025年10月24日
Vol.9

ごあいさつ 岩倉市議会議員：堀江たまえ



朝夕の気温も下がり、秋も終わり、冬の到来が感じられる頃となりました。いかがお過ごしでしょうか。令和6年度の決算を審議する議会でした。子育てに関する条例や施設の利用についても議論されましたのでご報告させていただきます。今後もよろしくお願ひ申し上げます。

一般質問にて

ケアマネジャーの在り方、 シャドーワークについて市に質問しました

介護支援専門員ケアマネジャーは在宅サービスにおける介護の要となる存在です。近年はケアマネジャーに求められる仕事や役割が増えており、離職要因も業務負担・業務負担の大きさが地域包括支援センター、居宅介護支援事業所で1位となっています。そして利用者や自治体、病院などから業務範囲を明らかに超えるような仕事や役割を求められるシャドーワークが近年増えていきます。それにより労働環境の悪化や精神的な負担を訴えるケアマネジャーも増えてきています。

シャドーワークとは？

「影の仕事」という意味で報酬の支払われない労働や本業以外の見えないところで発生する業務



ケアマネジャーのシャドーワーク



- ・モニタリングや定期的な安否確認を除く緊急訪問をしたことがある・・・90.9%
- ・徘徊時の捜索や捜索依頼への対応をしたことがある・・・79.7%
- ・入院や通院時の付き添いをしたことがある・・・68%
- ・介護保険制度以外の行政への手続きや申請の代行支援をしたことがある・・・68%
- ・本人や家族からサービス調整等にかかわらない電話への対応や時間外の対応を行ったことがある・・・67.2%

緊急性が高く自分の事業所では対応しなかつた利用者や家族からの強い願望があり対応せざるを得なかつたほかに対応できる人がいなかつた医療機関やその他の機関からの要請があつた など

～課題～



① 独居や高齢世代の増加に伴いシャドーワークが増える



シャドーワーク改善に向けた 今後の岩倉市の方向性は？



岩倉市の回答

本市におけるケアマネジャーの本来の業務、範囲外の業務の実情を把握し、利用者の支援に必要なサービスや社会資源が不足している場合は、生活支援コーディネーターや社会福祉協議会などの関係機関と対応を協議したい



在宅サービスにおける介護の要となるケアマネジャーの実績を把握し、自治体として少しでも働きやすい環境をつくっていただくことで人材不足解消になっていけばよいと考える。

岩倉市公式LINEを活用した高齢者の見守りについて提案しました

岩倉市の公式LINE登録者数



2,804人

(2025年8月末時点)

岩倉市の人口の約5%



近年は孤独死といったニュースを目にすることがあります。内閣府の有識者会議より発表された2024年の「孤独死」に関する推計は2万1856人で年齢別では65歳以上が7割、男女別では男性が8割を占めました。



岩倉市の高齢者の見守りに係る取り組み



- ・「生活支援型給食サービス」毎日の夕食配達の際に安否確認を行う
 - ・「緊急通報システム設置事業」24時間民間コールセンターと電話回線でつながるシステムで急病時の通報や相談を受け付け、対応する
- ひとり暮らしの高齢者へ地区の民生委員児童委員や地域包括支援センター職員が自宅訪問、市民ボランティア団体による認知症サポーター養成講座、認知症勉強会及び声掛け訓練 など



公式LINEを活用できないが



そこで！公式LINEでの 高齢者見守りサービス導入を提案します！

例：公式LINEから安否確認→返事→家族へ連絡
(栃木県矢板市、千葉県我孫子市が導入済み)



岩倉市の回答

高齢者の見守りとして様々な取り組みを実施しているところではあるが、見守りの仕組みについては他の自治体の事例なども参考に継続的に研究していく

家族や友人とのやり取りが行われる身近なサービスを利用して地域での担い手不足解消とまではいかななくても高齢者や家族、市にとっても実態の把握ができる双方のメリットがあると考えるので、ぜひ導入に向けて前向きに検討していただきたい。





岩倉市、新しい条例の設立へ

こども誰でも通園制度に向けての準備が始まる



岩倉市はリフレッシュ保育・一時預かり保育が整っている。今回、「こども誰でも通園制度」ができるにあたり、現状の制度との兼ね合いを見て、今回この制度を開始する経緯は？

- A. リフレッシュ保育・一時保育やファミリー・サポート事業は、ともに保護者に成り代わって預かるという考え方が基本となる。一方、誰でも通園制度はこどもの成長のために通う目的になっている。リフレッシュ保育と誰でも通園制度は親和性があるため、一体化して効率的な運用ができるか模索しながら検討していく。



現状1歳児は保育士1人につき園児は4人といった体制で行われている。今後実施するにあたり、広さなどあるが、どうなっていくのか？インクルーシブ保育といった観点からも、3人から始めるが、発達に特性のあるお子さんが利用する場合、加配などの対応をしていくのか？

- A. 余裕活用型は保育で定められている基準となる。岩倉市は一般型で実施。そのため専用の部屋で保育する予定。通常の園児と混在はない。国の基準の配置で1対6人で行う予定。加配については国のほうで示されていない。実施事業者でどこまで対応してもらえるか、今後、調整が必要である。



岩倉市内においては、3施設で実施される予定である。今後どのように運用され、リフレッシュ保育や一時保育などの運用とどのように棲み分けがなされているのか？こどもの成長が目的としているこども誰でも通園制度が成長に繋がっているのかを注意していきたい。



補正予算

若者応援プレミアムデジタルチケット！

愛知県内で初めて実施！

市内在住の19歳から29歳までが対象
1口あたり3,000円分のデジタルチケット
(プレミアム率50%)を2,000円で販売



申込期限：令和7年11月1日～30日
購入期間：令和7年12月1日～31日
利用期間：令和7年12月1日～令和8年2月28日
※1人につき5口まで



申込はPayPayからになります。
このチケットは市内のPayPay登録のお店で使うことができます！



定期接種

新型コロナワクチン情報

今年も10月1日から実施。
市内のコロナワクチンがどの種類を使用することになっているのかご存知ですか？



市のHPで確認ができます。市内でレプリコンワクチンを扱うところがあります。いまだにm-RNAワクチンに対して、国としてはワクチンに対する検証をおこなっておりません。厚生労働省発表の9月29日～10月5日の定点当たりの報告数は新型コロナ4.82。前週は5.87。自然に減少。ワクチンを打ってなくても新型コロナの発生状況は減少。接種される場合は、体調の変化がないかを注意してください。



令和6年度決算！どうだったか？聞いてみた！ コミュニティースクール事業



令和6年度から岩倉中学校区で始まった。
どんなことをやっているのか？
また、1年間やってきてみえた課題はあるか？



- A. 学校運営協議会の委員のうち地域連携コーディネーターがあり、その方を中心に地域のボランティアを募り定期的に校内の清掃活動だったり除草等の環境活動、家庭科や理科の授業支援に取り組んでいる。活動をきっかけに地域とともにある学校づくりや学校を核とした地域づくりが広がっていけばよいと考えている。課題は地域の方々からすると、授業支援等で学校に入ることは少し敷居が高い、まだコミュニティ・スクールに関しての認知が低いということ。周知を増やし、学校に来てもらう機会を増やす必要がある。



健康被害救済制度の申請について申請を検討されている方は
岩倉市保健センターで相談を受けています。
コロナワクチンを打ってから死亡・病氣・体調不良については、
因果関係が疑われます。お気軽にご相談ください。
電話番号：37-3511



岩倉市予防接種
健康被害救済制度HP

～議会報告会～

10月25日(土)

14時から15時30分

岩倉市生涯学習センター

※議員主催 決算に関する報告

活動報告



7月



- 1日 社会を明るくする運動
- 2日 愛北広域事務組合会議
議会サポーター意見交換会
- 3日 南小図書ボランティア
- 11、18日 ICTチーム会議
- 12日 サポーター説明会
- 22日 全員協議会
議会基本条例推進協議会
- 24日 行政視察対応
- 25日 タブレット導入に向けての講習会
- 31日 東京都世田谷区へ視察



8月



- 1、8日 タブレット講習会
- 4日 参政党議員勉強会
- 5日 広報クリニック参加
- 9日 愛知県消防操法大会へ応援
- 13日 打ち合わせ
- 15日 戦没者記念式典へ参列
- 20日 全員協議会
議会基本条例推進協議会
- 23日 ワークショップ開催
- 24、31日 候補者説明会
- 26日 議会運営委員会



9月



- 1～30日 9月定例議会
- 10日 交通街頭
- 11日 南小図書ボランティア
- 13日 岩倉市敬老会式典参列
- 17日 厚生文教常任委員会
- 18～22日 財務常任委員会
- 25日 全員協議会
議会基本条例推進協議会
- 26日 岩倉中学校へ主権者教育
夜の交通街頭
- 27日 参政党政治塾
- 28日 防災訓練へ参加

参政党について

SNSのフォローをお願いします



～ご連絡先はこちら～

070-9168-0896

horie.tamae@gmail.com

発行元：岩倉市議会議員

堀江たまえ

